

## 指定管理者評価シート

## 一 管理運営の状況

1	施設名	仙台市高砂老人福祉センター
2	指定管理者	社会福祉法人仙台市社会福祉協議会
3	指定期間	平成29年4月1日～令和4年3月31日
4	施設の利用状況	《利用者数》 人（前年度比 ○○%） 令和元年度 36,759人（前年度比87.3%） 平成30年度 42,108人（前年度比98.1%） 平成29年度 42,928人（前年度比97.0%）
		《事業》 生活相談・健康相談（月平均77件）、福祉電話事業（1件）、趣味の教室（6教室）、介護予防事業（お達者クラブ、パワーリハビリ開放）、認知症予防事業（認知症カフェ・健康マージャン教室）、健康講話（2回）、ミニカフェ（3回）、シニアボランティア入門講座、介護予防健康料理教室（2回）、介護予防教室（7回）、小正月を楽しもう、高砂保育所世代間交流事業（1回）、小学生施設見学受入、中学生職場体験受入、夏のボランティア体験受入、看護学校実習生受入、節分うた祭り、草取り、落ち葉拾い、併設施設共催「七夕飾り」展示、ロビー作品展示、映画上映会（8回）、変わり湯（11回）、全館合同防災訓練（2回）、市民センターまつり
5	収支の状況	《費用》 ・ 指定管理者に支払った費用 32,919千円 (32,831千円) ・ その他市が負担した費用 6,740千円 (3,039千円) 《収入》 ・ 使用料収入 0千円 (0千円) ・ その他収入 0千円 (0千円)
		( )は前年度決算額
6	利用者の声	《実施状況》 地域委員会（1回）、運営委員会（1回）、趣味の教室講師懇談会（1回）、総合相談窓口開設（通年）、苦情解決相談窓口開設（2回）、意見箱の設置（通年） ※愛好会代表者意見交換会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。

## 二 管理運営に係る評価

(モニタリングシートの結果によって評価)

評価分野	所見	評価
I 総則	老人福祉センターの設置目的を踏まえた基本方針に基づき施設運営がなされており、職員も設置目的を適切に理解している。 また、利用者の健康づくりや、公平・公正な利用、高齢者の特性を理解したうえでの心身への配慮に努めるなど、利用者本位の施設運営を行っている。	33/33
II 施設の運営管理体制	必要数の職員が配置されており、各職員は他の職員の業務状況を把握している。経理処理も書類作成など適正に行われている。 また、個人情報の漏洩や滅失を防止するため、管理責任者を定めるとともに職員への周知等、意識啓発も行うなど、個人情報保護に対する体制を整えている。 事故や災害の発生に備え、併設施設との役割の確認を行ったほか、連絡体制や職員の役割分担を予め決めていくなど、対応体制を構築している。	24/24
III 施設・設備の維持管理	利用者の安全・安心・快適な利用を維持するため、施設内外の清掃を適切に行い、事故防止のための館内巡回も行われている。 また、張り紙等を活用し、節電やごみ発生の抑制、グリーン購入を実施するなど、環境に配慮した施設運営を行っている。	24/24
IV サービスの質の向上	利用者が気持ちよく利用できるよう、丁寧な対応と分かりやすい説明を心がけている。 また、毎月のセンターだより発行など、利用者への情報提供や施設のPRも積極的に行っているほか、利用者の意見や苦情に対し、その対応手順や担当者を明確にし、常時苦情相談が出来る体制づくりと併せて、第三者委員会による苦情解決相談窓口を年2回開設している。 さらに、利用者の意見や苦情に対し、その対応手順や担当者を明確にするとともに、市が実施する利用者アンケートの他にも独自アンケートを実施してニーズを把握するなど、利用者の意見を反映した施設運営に意欲的に取り組んでいる。	28/28

V	施設固有の基準	<p>高齢者が自ら学んだことを発表する機会の設定を積極的に行なっており、利用者の主体的な企画実施に対する支援も行っている。</p> <p>また、利用者の代表者で構成する委員会を立ち上げ、利用者が施設運営に関わる仕組みづくりに努め、利用者の意見を取り入れた企画の立案を行っている。</p>	9/9
---	---------	---	-----

### 三 評価総括

《指定管理者（社会福祉法人仙台市社会福祉協議会）による自己評価》	
<p>当センターでは、公の施設である老人福祉センターに共通する管理運営方針に加え、本会の活動基本理念である「一人ひとりの市民が、その人らしく地域で安心していきいきと暮らせる福祉のまちづくり」に基づき、地域包括ケアシステム構築に寄与することを目的に、高齢者の社会参加・社会貢献を支援するため、次のような事業を中心に展開した。</p> <p>介護予防事業では、毎回好評であるマージャン教室、パワーリハビリ(お達者クラブ)の開催により、身体機能や認知機能の維持・向上を支援した。また、新規事業開催及び新規利用者を受入れやすくするため、平成30年度に引き続き既存事業の整理を進め、今まで認知症予防事業として行っていた学び舎サロンを自主グループに移行した。</p> <p>平成29年度からの重点事業である介護予防教室では、内容の充実化や工夫を図った。具体的には、新たなプログラムとして近隣の福祉施設や企業と連携を図り、利用者ニーズに添えるよう努めた。</p> <p>認知症予防事業では、認知症カフェを地域のボランティアグループと連携して行い、地域の方々と一緒に開催する形を続けている。</p> <p>ボランティア育成については、宮城野区ボランティアセンターと共同でボランティア入門講座を開催し、受入先との調整も行っていたが、新型コロナウイルス感染拡大予防のため初回のみ開催となった。</p> <p>介護予防事業、認知症予防事業、ボランティア講座等の実施にあたっては、引き続き地区社協や町内会・老人クラブ等の地域関係団体と連携を深めていながら、高齢者の社会参加・社会貢献をさらに支援していく。</p>	

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>令和元年度の管理運営について、協定書及び仕様書に従って適切・良好に行われた。</p> <p>介護予防や社会貢献活動に力を入れており、「学び舎サロン」、「パワーリハビリ教室」などを継続して開催しているほか、新たに「介護予防健康料理教室」などを開催している。</p> <p>また、地域の集いの場を提供するため、新たに「ミニカフェ」を開催し、利用者の健康増進や教養の向上に貢献する取り組みを進めた。</p> <p>利用者に対する独自アンケート、意見交換会、生活上の困りごとの相談受付などを実施し、ニーズや課題の把握、解決に向けて検討を行うなど、利用者主体の施設運営に努めており、総合的に高く評価できる。</p>	S

### 四 その他特記事項

（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項

◎ 評価担当課（施設所管課）：健康福祉局保健高齢部高齢企画課